



### ～自治会集会施設等整備事業補助制度(特例分)について～

茨木市にて、自治会において新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行う場合に、必要な経費を補助する制度があります。令和3年2月末時点での申請件数は、下記のとおりです。申請期限は、令和3年3月31日で、令和2年度限りの制度です。

集会施設を有する自治会	集会施設を有しない自治会
<b>【対象】</b> 単位自治会(1自治会あたり1集会施設、複数ある場合は上限2集会施設) <b>【対象経費】</b> 手指消毒液、飛沫防止板、空気清浄機等の購入に要する経費、換気扇等の整備に要する経費 <b>【補助額】</b> 上限5万円	<b>【対象】</b> 単位自治会 <b>【対象経費】</b> 手指消毒液、ビニール手袋、ペーパータオル等衛生用品(消耗品)の購入に要する経費 <b>【補助額】</b> 上限2万円
<b>申請自治会 / 対象自治会</b> <b>115 / 229</b>	<b>申請自治会 / 対象自治会</b> <b>26 / 277</b>

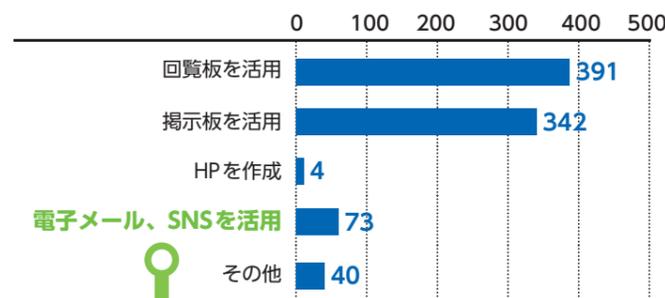
制度の詳細内容は、茨木市ホームページの市民協働推進課のページをご覧ください。【問合せ】市民協働推進課 072-620-1604

### 自治会における情報発信やITを活用した取組についてのアンケート調査 **集計結果**

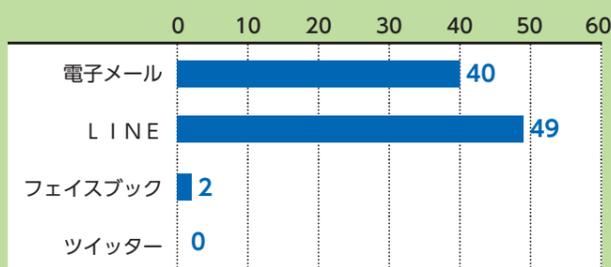
昨年10月に単位自治会を対象に実施いたしました「自治会における情報発信やITを活用した取組についてのアンケート調査」について、505自治会のうち425自治会から回答をいただきました。回答を取りまとめましたので、今後の自治会活動の参考にさせていただければ、幸いです。

#### 1 自治会活動において、会員への情報発信・情報共有にどのような手段を活用していますか。(複数回答可)

##### ●会員への情報発信・情報共有の活用手段●



##### 電子メール、SNSを活用の内訳



### 茨木市地区連合自治会長研修会

日時: 令和2年11月26日

●テーマ: 「新しい市民会館と跡地エリアの活用等について」 ●講師 茨木市長 福岡 洋一氏

今年度は、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、新しい市民会館と跡地エリアのコンセプトや、今後の茨木市のまちづくりについて、茨木市長福岡洋一氏を講師に招いて、令和2年11月26日に茨木市福祉文化会館302号室において研修会を開催しました。

研修会には、各地区連合自治会長31人が参加し、福岡市長から「新しい市民会館や跡地エリア」をはじめ、「安威川ダムと周辺整備」や「元茨木川緑地のリ・デザイン」、また、「彩都」や「東芝跡地」など各地区のまちづくりなど、「次なる茨木」の主な取組について、情報共有するとともに、意見交換会を行いました。

意見交換会では、新施設の建設にあたり、環境への配慮の取組をはじめ、ICTの活用(Wi-Fiの導入)や地域が主体となったまちづくり、また、財源確保の取組などについての意見交換がありました。



研修会の様子

#### 新施設について

平成27年12月に閉館した元市民会館。その跡地を活用するにあたっては、「市民会館100人会議」を開催するとともに、参加いただいた皆さんの意見を踏まえ、キーコンセプトを「育てる広場」とし、「社会実験IBALAB」など、市民との「対話」を基本に進めています。



北西より芝生広場、建物外観を見る



読書テラス



大ホール



交流ホワイエ